



# 油断禁物！「結核」は過去の病気じゃない！！

令和5年10月4日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和5年第39週分・9月25日～10月1日)

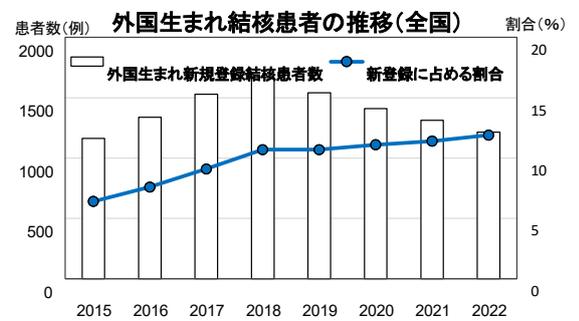
### 《インフォメーション》

#### 結核

結核は過去の病気と思われがちですが、今もなお、毎年1万例を超える新規結核患者が全国で報告されています(上図)。また、既患者を含め毎年1,500人以上の人が亡くなっています。全国の新規患者数は減少傾向が続いていますが、欧米諸国と比較してまだ高い状況です。富山県の新規患者数は2020年～2022年と減少傾向で推移しています。

外国生まれの結核患者数については2018年まで増加傾向でした(下図)。2018年は、特に結核の罹患率の高い国の出生者が日本滞在中に発病する例が多く見受けられました。国はこのことを受け、結核の罹患率の高い国の国籍を持ち、かつ中長期間在留予定の者に対し、結核に罹患していないことの証明を求める結核スクリーニングを調整の出来た対象国から順次実施する予定としています。

結核は、結核菌を原因とする感染症です。感染はほとんどの場合、結核菌を含んだ空気中の粒子(飛沫核)を吸い込むことにより起こります。感染源となる粒子は主に、喀痰塗抹陽性の肺結核患者が咳をすることで生じます。結核は感染しても通常は免疫により菌の増殖が抑えられるため、感染者の8～9割は発病することなく一生を過ごします。一方、感染者の1～2割は発病し、その多くは感染後6ヶ月～2年までに発病するとされています。また、加齢などにより免疫力が低下することで発病する場合があります。結核は、発病しても早期発見、治療により治る病気です。しかし、肺結核は、咳、痰、微熱や倦怠感などの軽い症状が長引き、気づかないうちに進行してしまうことがあります。このような症状が2週間以上続き、いつもの風邪症状と異なるようであれば、その旨を医師に相談してください。早期診断につなげることが大切です。また、乳幼児の場合、抵抗力が弱く、感染すると重症化する可能性が高いです。このため、乳幼児は定期接種対象年齢(推奨時期:生後5～8ヵ月未満)にBCGワクチンを必ず受けましょう。



### 《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 1件(50歳代、男性)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	COVID-19	9.83(↓)	11.67
2位	感染性胃腸炎	3.41(↑)	3.31
3位	手足口病	2.93(↑)	2.83
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.83(↑)	2.07
5位	インフルエンザ	2.04(↑)	1.54
6位	ヘルパンギーナ	0.93(↑)	0.69



○感染症発生動向調査報告状況（令和5年第39週 令和5年9月25日～令和5年10月1日）

分類	疾患	今週報告分（第39週）						累積報告数（令和5年第1週（1月2日）～）						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
全数把握	二類感染症	結核				1	1	5	6	23	5	55	94	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症						1		3	2	13	19	
	四類感染症	オウム病									1		1	
		日本紅斑熱										1	1	
		レジオネラ症							4	1	13	1	10	29
	五類感染症	アメーバ赤痢											2	2
		ウイルス性肝炎									1			1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									11	2	11	24
		急性脳炎										1	1	2
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									6	1	5	12
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2	2	7	11
		侵襲性肺炎球菌感染症								2	5	1	11	19
		水痘（入院例）								1		1	4	6
		梅毒									2	1	14	17
		播種性クリプトコックス症							1					1
破傷風										1			1	
百日咳												4	4	
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（48定点）	インフルエンザ	12	4	35	13	34	98	835	1,396	3,433	1,169	4,783	11,616
		COVID-19（※1）	1.71	0.80	2.69	1.86	2.13	2.04						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	68	51	150	65	138	472	1,573	1,019	2,824	1,390	2,647	9,453
			9.71	10.20	11.54	9.29	8.63	9.83						
		RSウイルス感染症	2	1	1	1	3	8	71	118	647	257	584	1,677
			0.50	0.33	0.13	0.25	0.30	0.28						
		咽頭結膜熱			18		7	25	68	52	302	44	179	645
					2.25		0.70	0.86						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	30	1	44	82	69	27	988	12	767	1,863
			1.00	1.00	3.75	0.25	4.40	2.83						
		感染性胃腸炎	19	8	5	8	59	99	775	754	1,331	911	4,438	8,209
			4.75	2.67	0.63	2.00	5.90	3.41						
		水痘							4	21	35	6	57	123
	手足口病	6	6	24	33	16	85	39	70	347	146	268	870	
		1.50	2.00	3.00	8.25	1.60	2.93							
	伝染性紅斑							1		2		6	9	
	突発性発しん	1		1	1	2	5	14	28	100	25	72	239	
		0.25		0.13	0.25	0.20	0.17							
	ヘルパンギーナ	1	1	13	4	8	27	111	132	788	104	541	1,676	
	0.25	0.33	1.63	1.00	0.80	0.93								
流行性耳下腺炎							1	2	8	2	14	27		
眼科定点（7定点）	流行性角結膜炎			1		2	3	3	2	28		6	39	
			0.50		1.00	0.43								
基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎				1		1				1	1	2	
					1.00		0.20							
	マイコプラズマ肺炎									7			7	
入院サーベイランス（5定点）	感染性胃腸炎（ロタウイルス）										5		5	
	インフルエンザによる入院患者（※2）											1	1	2
	COVID-19による入院患者（※3）	4	5	3	5	26	43	4	5	3	5	26	43	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。 ※1 COVID-19は令和5年第19週（5月8日）～の集計です。  
 ※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和4年第36週（9月5日）～の集計です。 ※3 COVID-19による入院患者累計報告数は、令和5年第39週（9月25日）～の集計です。

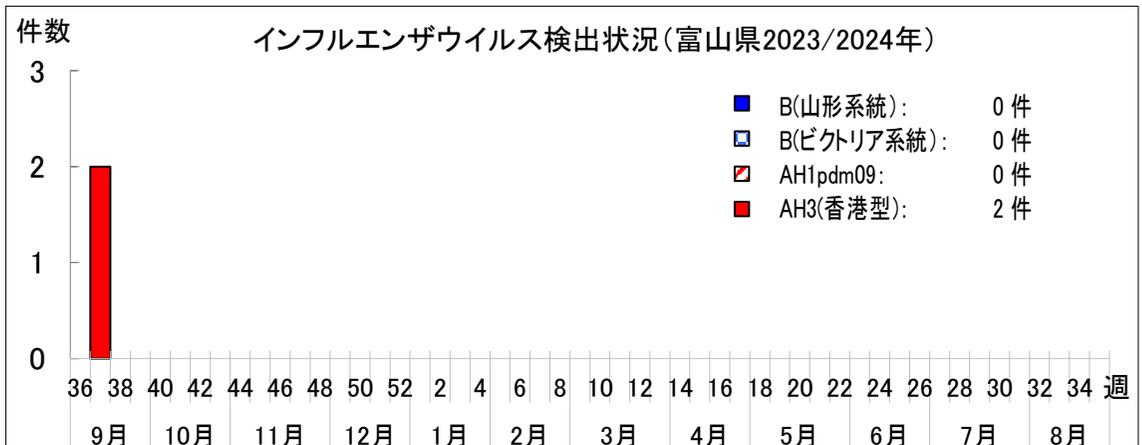
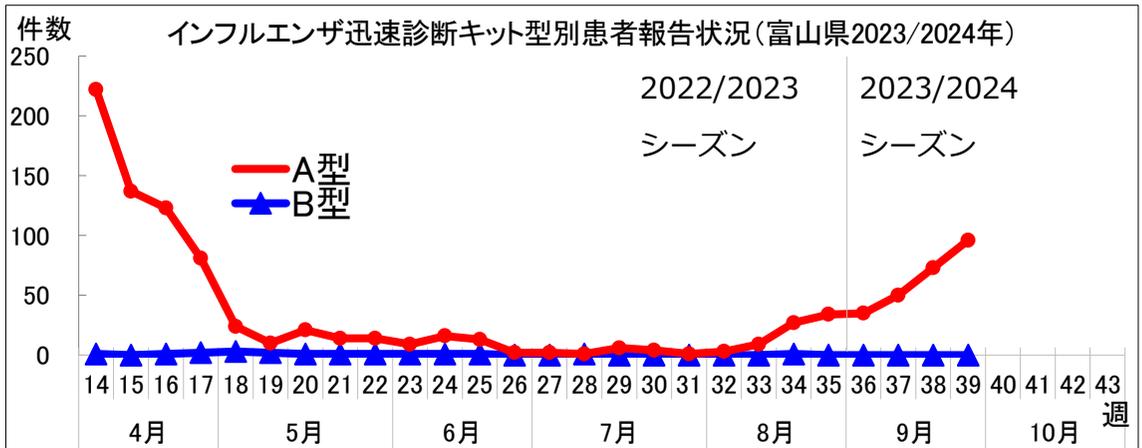
## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。  
 現在、下の表によると、A型が98.0%となっています。

### 第39週(9/25～10/1)：富山県 2.04人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	12	0	0	12
中部	2 / 5	4	0	0	4
高岡	10 / 13	35	0	0	35
砺波	4 / 7	13	0	0	13
富山市	9 / 16	32	0	2	34
富山県	30 / 48 <sup>※1</sup>	96	0	2	98
富山県累計(2023年36週～)		254	0	4	258

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が30か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





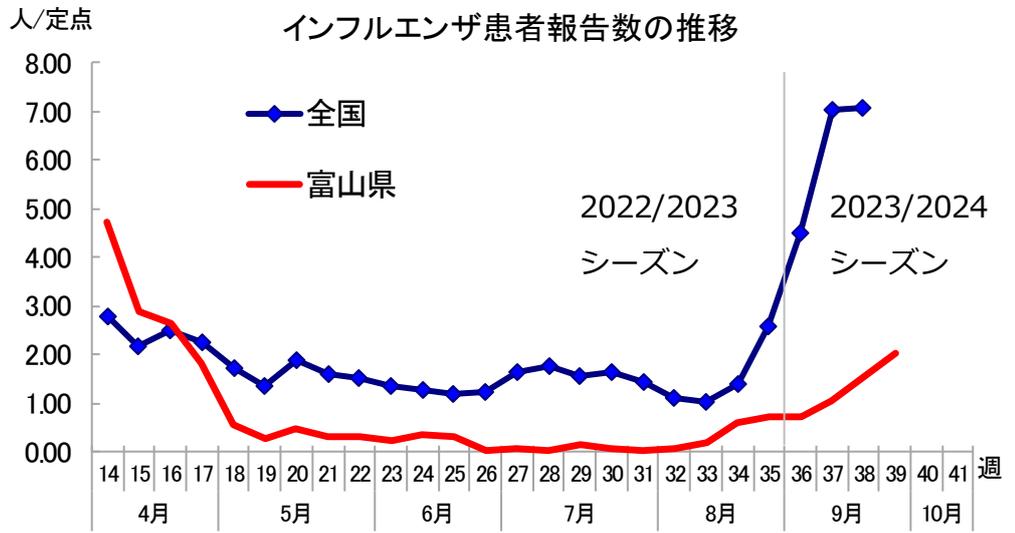
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第 39 週 (9/25~10/1) : 富山県 2.04 人/定点

新川 HC (1.71)、中部 HC (0.80)、高岡 HC (2.69)、砺波 HC (1.86)、富山市 HC (2.13)

全国のインフルエンザ患者報告数は、第 37 週まで顕著な増加が続いていましたが、第 38 週では 7.09 人/定点となり、前週と同程度で推移しています。

県内の患者報告数は 2.04 人/定点となり、緩やかな増加が継続しています。

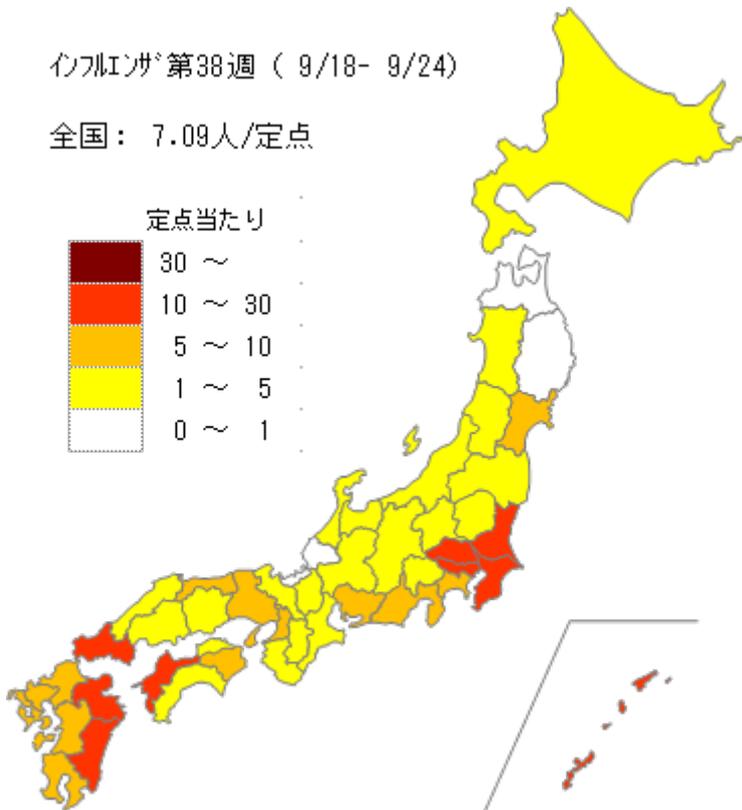


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第 38 週 (9/18~9/24)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 7.09 人となり、前週の 7.05 人より増加しました。23 都府県で前週より増加しています。23 道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ第38週 (9/18- 9/24)

全国: 7.09人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.40 ↓	滋賀県	4.68 ↑
青森県	0.33 ↓	京都府	4.77 ↓
岩手県	0.89 ↑	大阪府	5.03 ↑
宮城県	5.53 ↓	兵庫県	5.36 ↓
秋田県	1.44 ↑	奈良県	4.31 ↑
山形県	1.40 ↑	和歌山県	3.51 ↓
福島県	4.16 ↓	鳥取県	5.34 ↓
茨城県	11.01 ↑	島根県	4.18 ↑
栃木県	3.30 ↓	岡山県	4.94 ↑
群馬県	2.28 ↑	広島県	2.38 ↓
埼玉県	10.10 ↓	山口県	10.69 ↑
千葉県	15.14 ↑	徳島県	8.97 ↓
東京都	12.19 ↑	香川県	3.64 ↑
神奈川県	8.85 ↓	愛媛県	14.07 ↑
新潟県	2.35 ↑	高知県	3.11 →
富山県	1.54 ↑	福岡県	9.19 ↓
石川県	2.21 ↓	佐賀県	8.36 ↓
福井県	0.97 ↓	長崎県	8.27 ↑
山梨県	4.10 ↑	熊本県	9.01 ↓
長野県	2.87 ↑	大分県	13.79 ↑
岐阜県	2.64 ↓	宮崎県	14.00 ↑
静岡県	7.19 ↓	鹿児島県	5.31 ↓
愛知県	8.54 ↓	沖縄県	22.46 ↑
三重県	4.75 ↓	全国	7.09 ↑